社会資本整備審議会 道路分科会
平成29年度 第1回 四国地方小委員会
議事概要

1. 日時：平成30年1月24日（水） 15：00～17：00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎 13階 1306・1307会議室

3. 出席者

[委員長]

山中 英生 徳島大学大学院理工学研究部 教授

[委員]

石原 俊輔 四国経済連合会 専務理事

近藤 明子 四国大学経営情報学部メディア情報学科 准教授

野々村敦子 香川大学工学部安全システム建設工学科 准教授

畠中 智子 高知のまちづくりを考える会 代表

4. 議事内容

(1) 四国地方小委員会及び計画段階評価について

(2) 計画段階評価

- ①四国横断自動車道 宿毛～内海
- ②阿南安芸自動車道 奈半利～安芸
- ③阿南安芸自動車道 野根～安倉

5. 審議結果

四国横断自動車道 宿毛～内海、阿南安芸自動車道 奈半利～安芸、野根～安倉の計画段階評価について、委員からの意見を事務局で検討のうえ、意見聴取を進めることを了承する。

6. 主な意見

- ・ルート帯評価項目では、地元自治体の防災計画との整合が重要ではないか。
- ・今後は自動運転が主流となり、トラックの隊列走行も考えられるため、対応できる線形、勾配とすべきではないか。
- ・次のアンケートは遅滞なく実施することが重要。

○意見聴取について

- ・5段階評価における1.「そう思う」～5.「そう思わない」の数値表現については、日本人の心理に合わせて「そう思う」を5とすべき。
- ・「早く開通すること」は、事業化後、整備に必要となる時間について聞いている事が分かるよう表現を工夫すること。
- ・「国道の代わりとして利用できること」については、現道改良を望む質問か別ルートを望む質問かを判断できる問いとすべき。
- ・政策目標の項目と道路整備に配慮する項目は分けて聞くべき。
- ・野根～安倉は、一般道か専道かの判断が重要。125cc以下の自動二輪車など

自動車以外も安全に通行出来ることが重要と思うかを問う「問2」を前にすべき。

- ・野根～安倉は、集落や史跡もなくこれらを含む設問はよくないのではないか。また、市場や観光地へ早くという設問は、目的地への移動が早くという設問とすべき。

○ヒアリングについて

- ・ヒアリングの際は、地域のまちづくりの方向性も含めて聞いて欲しい。
- ・30～40代の起業を考えている世代から、ヒアリングして欲しい。
- ・ヒアリングやグループミーティングでは、模型やバーチャル映像、他地域での事例等を用い、住民にとって分かりやすいものとして欲しい。